

とじこじ

藤里の暮らしをゆつくりじっくり楽しむ情報紙

《発行》
地域おこし協力隊
@かもや堂
電話 0185-74-5668
〒018-3201
藤里町藤琴字藤琴 55

第2回白山地 ブナの森マラソン開催

藤原も
完走!



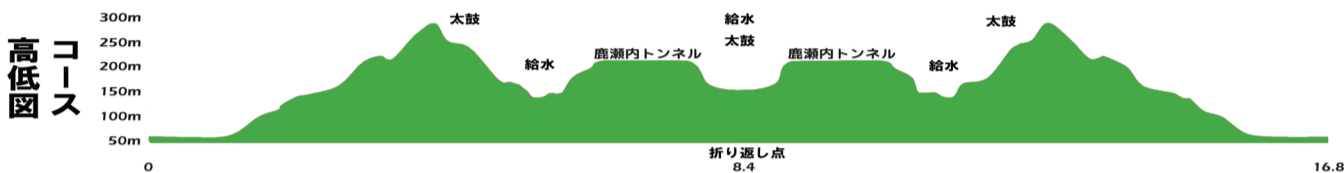
がんばれ～!



給水ポイントでスイカ!



2か所で応援する高山太鼓。



「がんばってー」と声をかけてくれます。給水ポイントでは、待ち構えたお母さんがたがスイカ、トマトでおもてなし。沿道で応援する高山太鼓の音は、山の向こうからでも響いてきます。途中、足の爪が内出血し、ひざはガクガクになりながらも、なんと2時間25分で完走できました!

しばらくは、ひたすら登りです。序盤でクマゲラやドラえもんを着ぐるみ勢にも抜かされ、と思ったらアツという間に先頭集団が折り返し走ってきて「がんばってー」と声をかけてくれます。給水ポイントでは、待ち構えたお母さんがたがスイカ、トマトでおもてなし。沿道で応援する高山太鼓の音は、山の向こうからでも響いてきます。途中、足の爪が内出血し、ひざはガクガクになりながらも、なんと2時間25分で完走できました!



給水所の藤田さん



8月23日(日)、第2回となる「白山地ブナの森マラソン」が開催されました。コースは坊中橋から米代林道を辿り、素波里湖で折り返し戻る16・8キロ。高低差約200メートルという厳しい道です。今回の参加者は75名。町外から集まったランナーたちのふくらはぎのすごいこと……今回レポートのために参加した私・藤原は、しょっぱなから場違い感に打ちひしがれました。緊張のあまり顔色が悪いなどと言われつつも、坊中橋からいっせいにスタート!

参加者に聞いた! ブナの森マラソンどうでしたか!?



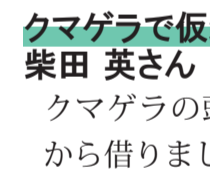
みごと優勝! 男子1位 保坂貴俊さん
商品がとても豪華! うれしいです!!



おばあちゃん見てた? 市川佳愛さん
女子2位でした!! 藤里には祖父母がいます。



大館から夫婦で参加 藤田公仁さん&弥世さん
お揃いのTシャツは、大館の「はちくん」です。



クマゲラで仮装賞ゲット! 柴田 英さん
クマゲラの頭は商工会から借りました~!



70才過ぎても100km走るよ 梅崎幸男さん
毎朝20kmは走らないと調子出ないね。



ウルトラマラソンの女王 秋田秀子さん
アットホームな大会で素敵ですね!



第27回高山温泉夏まつり

8月13日は、高山温泉夏まつりでした。私自身も、小さい頃に行ったことのある懐かしのお祭りです。深夜1時(!)まで野菜を切ったり、朝5時(!)から玉こんにゃくの仕込みをしたり、と驚き話の連続でしたが、開演時には準備万端整いました。一時は雨が降ったものの、司会も務める事務局・成田さんの「この夏まつりへの想いはすごい!」の熱意が天に伝わったか、無事抽選会までの全演目・全予定を終了。中通の皆さん、出演者、ボランティアの皆さん、今年もお疲れ様でした! (布川)

石橋談義
九月は、旧藤琴村、粕毛村の本郷地区のお祭りが続く。俳句では「祭」の季語は「夏」になっているように、産土神にその年の豊作祈願をかけて春や夏に行なわれてきたのが一般的である。初秋になると稲穂も垂れ、その年の作況も分かる中で、敢えて藤琴、粕毛のお祭りが挙行されてきたのは豊作祈願よりも稲刈り前の僅かな農閑期を選んだことになろう▼農機具など近代化された今日の農業は極端な農閑期、農閑期もなくなり、秋になっても一家総出の稲刈り、稲架(はさ)掛け、稲運び、それに夜の明けないうちから稲こき機があーんぐあーん唸ることもなくなった。あの農業に携っていた人たちはみんな何処へ行ったのだろう▼そういえば、戦前の頃までは家族が十人以上というのも珍しくはなかった。政策的にも人口増がはかられたし、歴史的にも室岱、佐々木新助(元県会議員佐々木守一先祖)宅には、安政五年(一八五八)に四十三人居住していた記録がある。地主であったので大家族は当然としても馬を三十六頭も飼っていたというから一家の活気も沸々と感じられる▼米余りの時代、お祭りの幟が「豊年万作」というのも皮肉だが、農業が衰退し人口減少の厳しい中で、このお祭りが何か起爆剤に明るい方向に進めばと思うのだが。(F)

聞き書き 第5回

和サービスプラン代表
馬坂・市川和安さん



なあなあでは、
できない。

横倉に生まれ、靴屋に勤める

生年月日は、昭和34年1月31日。戸籍は、な。実際は違うみたい。昔はずっと奥、横倉に住んであったの。その頃はバスもなかったし、町中に出て来るってみんな歩いてあった。だから産まれてすぐ届けなくて、10日くらい遅れているみたい。届けに行つたのがうちの小さいおじちゃん、「いつ産まれましたか？」と聞かれて「1月の末だ」とって、「じゃ31日ですか」とって、「はいそうです」ということだそうなんです。母親の話によるとな。

小学校は金沢小学校。中学校も金沢にあったんだけど統合になったの。高校は二ツ井高校で、卒業してからは、『アキタエース』っていう靴屋さんの本社にいたんだ。俺の女房履いてる靴ほとんど俺の手づくりの靴だよ。東京の本社から富根に戻ってきて、なんで辞めたかっていうと、親父が死んじゃったのよね。それで転勤の話も断つたんだよ。行つたら俺の人生も変わつたかも。この仕事はしてないだろうから。

慣れてはいけない仕事

『和サービスプラン』でやっているのは、火葬。斎藤と二人で全部やっている。楽しくやれる仕事ではない。

事ではない。よくみなさんに「もう十何年もやってりや、慣れたでしょ」と言われるけど、慣れる仕事ではない。ましては慣れてはいけない仕事だと思ってる。慣れてはいけない、なあなあでやってはいけない仕事だと思ってる。

死んでも、火葬する前は生きてくる可能性ってあるんだよね。死んで一週間後に生き返つたという人間もいるから。稀だけどね、昔、外国でそういうのがあったんだって。だけど、火葬しちゃえばもう生き返ることって絶対無い。骨しかなくなるから。だから、なあなあではできないし、慣れてはいけない。

東京で藤里のものを売る

秋田県のアンテナショップが東京の品川にあって、産直で行くの。次は10月あたりかな。6月はね、野菜とか、タケノコとか。10月は栗、キノコと野菜系と。売れるよ。物さえあれば売れる。間違いない。値段さえ間違えなければ。

東京だからってべらぼうに高くすれば売れないよ。高くてもいいもの、抑えなきゃならぬものがある。区別はちゃんとつけないと、高くなって言われる。品川って、あの辺にスーパー



いちかわ かずやすさん
昭和34年横倉生まれ。『和サービスプラン』代表として斎場維持管理、町営墓地公園清掃、町営不燃物廃棄処理場管理、環境監視業務に携わる。産直あさひ会の副会長。

人伝いに広がるのが一番
産直の売り上げはあんまり良くないんじゃないの。だから今、出張販売などして頑張ってる。待ってたって客は来ないから。ただ、会員の人数少ない中で、産直の当番やって、出張販売の当番やってるとつらいよ。

来年の3月は、在京藤里会がある。うちの同級生も来る。在京でよく売れるのは、いぶりがっこでしょ、あとタケノコの缶詰、ぜんまい、ふき、わらび、山菜系統だね。いぶりがっこはね、どこ行っても売れるんだ。まして酒呑むとは、持って行く。来年の3月は、在京藤里会がある。うちの同級生も来る。在京でよく売れるのは、いぶりがっこでしょ、あとタケノコの缶詰、ぜんまい、ふき、わらび、山菜系統だね。いぶりがっこはね、どこ行っても売れるんだ。まして酒呑むとは、持って行く。来年の3月は、在京藤里会がある。うちの同級生も来る。在京でよく売れるのは、いぶりがっこでしょ、あとタケノコの缶詰、ぜんまい、ふき、わらび、山菜系統だね。いぶりがっこはね、どこ行っても売れるんだ。まして酒呑むとは、持って行く。



水ゼリーは、ゼラチンを水で溶き、冷やして固めるだけの超簡単デザート。シンプルだからこそ素材の味が重要な水ゼリーを、私・藤原が白神山水でつくってみました。味の感想は……違いのわかる人のジャッジが待たれます。ちなみに私は、はちみつとレモン果汁をかける食べ方がお気に入りです。低カロリー&満腹感もあるので、ダイエット中のおやつにも!? 紅茶やコーヒーでつくるバリエーションも◎。

つくりかた



とんじこんじ抄
都内で藤里出身者の方々とふるさとトークの機会を得た。故郷に帰る理由を聞くと、「親がいる。兄弟がいる。友達がいる。墓があるから」という答え。都会に暮らす時間のほうが長くなっても、忘れられぬもの。そういうものが多いほど、ここを好きになる。帰りたい場所に必要なものって何でしょう。(シャケ)

編集後記
足はもう大丈夫です。我こそは…という方、ぜひ来年のマラソンご参加を!(藤原)